

Naoki Ishikawa  
Special  
Exhibition

企画展  
石川直樹

# 雲平線と文学

-ヒマラヤ8000メートル峰14座から見た世界-

2025

1.18<sup>土</sup>

-3.9<sup>日</sup>



コバトン&  
さいたままち



さいたま文学館





関連企画イベント：

## 特別講演会

### 『ヒマラヤ / 写真 / 言葉』

2025年1月18日(土)

時間 14:00~15:30 (開場は開講の30分前)  
場所 さいたま文学館 文学ホール  
料金 無料 (申込制・先着順)  
定員 200名  
申込方法 12月22日(日) 9:00より電話にて受付  
電話番号 048-789-1515

↓詳細はこちら



## 子ども向けワークショップ

### 『ちょっとヒマラヤを体験する』

2025年2月16日(日)

時間 14:30~15:30 (開場は開講の15分前)  
場所 さいたま文学館 講座室2  
料金 無料 (申込制・先着順)  
申込条件 小学生  
定員 15名  
申込方法 1月5日(日) 9:00より電話にて受付  
電話番号 048-789-1515

↓詳細はこちら



## 石川直樹 Naoki Ishikawa

1977年東京都生まれ。写真家。  
東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。  
辺境から都市まであらゆる場所を旅しながら、作品を発表し続けている。  
2011年『CORONA』(青土社)により土門拳賞。2020年『EVEREST』(CCCメディアハウス)、『まれびと』(小学館)により日本写真協会賞作家賞を受賞した。  
著書に、開高健ノンフィクション賞を受賞した『最後の冒険家』(集英社)、『地上に星座をつくる』(新潮社)ほか多数。2024年10月、ヒマラヤ山脈のシジャパンマに登頂し、8000m峰全14座登頂を達成した。

## 石川直樹 企画展

### 雲平線と文学

#### ー ヒマラヤ8000メートル峰14座から見た世界 ー

雲平線とは、宮沢賢治が『春と修羅』で用いた造語で、天と雲との境界を指しています。本企画展では、標高8000メートル以上の全14座に登頂を果たしたばかりの写真家・石川直樹が山頂付近で撮影した写真や、頂上に向かった日の日記、そして、ヒマラヤの高峰に初登頂した世界の登山家たちの著作や手記などを紹介しながら、垂直の旅の末に行き着いた水平線ならぬ雲平線が広がる超高所に思いを馳せます。人間の生を拒絶するがゆえに「デスゾーン」とも呼ばれる壮絶な環境で、彼らはいったい何を見たのか。写真や言葉によって、日常とかけ離れた8000メートル峰の頂へと迫る、小さな展覧会です。



さいたま文学館

お車で来館の場合は、あかしや通りから入れます

会期 1月18日(土)~3月9日(日)  
休館日 毎週月曜日(月曜祝日の場合は開館。翌平日休館) 館内整理日(毎月第4火曜日、但し休日の場合を除く) 年末年始(12月29日~1月3日)  
会場 さいたま文学館 文学展示室  
開館時間 10:00~17:30(観覧受付は17:00まで)  
お問合せ 048-789-1515  
受付時間 9:00~17:00(月曜日、第4火曜日の休館日を除く)  
アクセス 〒363-0022 埼玉県桶川市若宮1-5-9 さいたま文学館 JR高崎線桶川駅西口から徒歩5分

主催 さいたま文学館指定管理者 株式会社ケイミックスパブリックビジネス

料金	一般	学生	中学生以下
当日	210円	100円	無料
団体	120円	60円	

\* 団体は20名様以上です。

\* 障害者手帳をお持ちの方(介助者1名を含む)は無料。

Naoki Ishikawa  
Special Exhibition  
at Saitama Museum of Literature